

慶應志木会会報

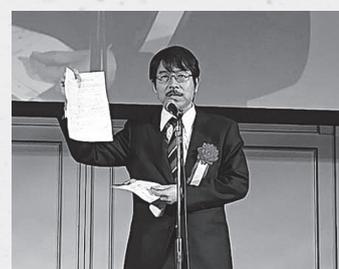
慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2019



vol.39

第7回慶應志木会大会は大盛況のうちに閉会。 2023年の再会を誓い合いました!



第7回 志木会大会を振り返って

志木会会員の皆様こんにちは。昨年11月3日に開催されました第7回志木会大会の実行委員長を務めました衣川 潤です。

当日参加された方々はお分かりの通り、お陰様で大会は大成功でした。長谷山彰塾長、高橋美樹校長をはじめ幹部の方々多数の参加の下、900人以上の参加を得て、催し物、福引、バンド合戦等で大いに盛り上がり、旧交を温め、次回の集まりを約して散会しました。参加頂いた皆様、大会に際して様々なご協力を頂いた慶應義塾並びに志木高等学校の皆様、景品の寄贈を頂いた皆様、準備・連絡に当たって頂いた幹事団・志木会役員の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。有難うございました。

大会の当日あるいはその前後から発信させて頂いている通り、次なる目標は志木校の創立75周年に当たる令和5年(2023年)に向けて、その記念事業に対する志木会としての支援の実現です。令和5年の志木会大会第8回の盛会と、寄付金集めの成功を祈念して挨拶とさせていただきます。

第7回志木会大会 実行委員長 衣川 潤



新会長ご挨拶



慶應志木会会長

坂上 隆彦

昨年11月3日、東京プリンスホテルでの志木会大会にて松下前会長より後任会長としてご紹介頂きました、23期坂上隆彦です。

本年4月1日から慶應志木会第5代会長に就任致しました。これから5年間の任期、会員諸氏の交流促進、我々が母校、慶應義塾志木高等学校の発展支援の為、尽力させて頂く所存であります。会員各位からのご支援の程宜しくお願い申し上げます。

さて、我々が母校、慶應義塾志木高校、振り返りますと昭和23年、故・松永安左エ門恩師からの土地/建屋一連のご寄贈により慶應義塾農業高等学校として世に生まれ、その後普通高校として慶應義塾志木高校に変節し70年余の歴史を刻めるようになりました。又、その両校の卒業生同窓会としては、昭和63年第1期生、櫻井先輩、龍野先輩等各位のご尽力の元、慶應志木会が生まれ、第1代櫻井会長、第2代多田会長、第3代鹿野会長、第4代松下会長と30年の歴史を歩んで参りました。本年も新たに243名の諸君が志木高を卒業、慶應志木会に入会、今では1万6千名に上の会員を持ち、全登録三田会35万名の中で4%を占める大きな同窓会となりました。改めて先輩諸氏の慶應志木会活動におけるご尽力に敬意を表する次第であります。

昨今、世の中の同窓会活動、特に高等学校同窓会が注目を浴びているような事を聞きます。大学(大学院)に進学し企業に入社するのか、独立し事業を起こすのか、慶應義塾開塾以来の実学の精神、実学を学び実践し、そして人生を歩んで振り返った時、高校時代を思い起こすとの事。過激な受験戦争を勝ち抜き、青い春を迎え、お互い人間形成が始まり、人生の友を得る時期その大切な場、慶應志木高校に我々慶應志木会は、奨学金制度を設立し、国際交流事業には支援金を、卒業時には部活動などで顕著な成績を修めた諸君に志木会賞を送ってまいりました。卒業生、先輩として、何をどうする事が後輩たちにとって励みになる事なのか、学んだ実学を基礎に半学半教の精神で、母校愛を發揮し実施してまいりました。

そして次の課題としては、慶應義塾志木高校、来たる令和5年(2023年)いよいよ創立75周年を迎えます。現在、志木高校と塾監局にて記念事業の内容について調整中と伺っております、慶應志木会としましても母校の誠におめでたい周年事業、今後記念事業の内容が明瞭になった段階で、会員各位にその内容を明示し支援活動に入ってまいりたく存じます。どうぞ会員各位におかれましても、今後ともより一層のご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

令和元年6月吉日

名誉会長ご挨拶



慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長

高橋 美樹

志木会の皆様には、常日頃より、様々な形で本校をご支援いただき、ありがとうございます。慶應義塾志木高等学校を代表して、心より御礼申し上げます。

昨年7月末に、一貫教育校担当の大森正仁常任理事よりご連絡をいただき、10月1日より、校長の任期が2期目（1期2年）に入りました。志木会関係では、最初の1期は、右も左もわからない中、松下賢次前会長に様々な場面で大変お世話になりました。ありがとうございました。また、坂上隆彦新会長をはじめ、皆さまには、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

校長の継続が決まってもなく、11月3日（土・祝）には、5年に1度の志木会大会にも参加させていただきました。生憎、当日は「学校説明会」と重なっていて、終了間際の参加となってしまいました。衣川潤大会実行委員長からは、力強く、慶應義塾志木高等学校75周年記念事業協力へのキックオフ宣言をいただきました。心より御礼申し上げます。

志木会大会の会場でもお話しさせていただきましたが、75周年記念事業の基本コンセプトは、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」の実践です。福澤先生が“society”を「人間交際」と訳されたのは有名な話ですが、ここでの「交際」には、慶應義塾内の交際、地域における人と人との交際、外国との交際、更にはこれらの交際を通じた、「智見の交易」までも含みます。「数理と独立」の教育は、教育の上で「実学」と「独立自尊」を重視することに他なりません。

慶應志木会にご支援いただいている、「慶應志木会奨学金」「慶應志木会賞」「国際交流支援資金」が、上にあげたような「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」に役立っていることは言うまでもありません。昨年度、奨学金については、4名の生徒が恩恵にあずかりました。本年3月24日（日）に大森正仁常任理事ご臨席のもと行われた卒業式では69期・243名の生徒が巣立ちました。卒業式には、29期（卒後40年）・70人の皆さまにも出席いただきましたが、その後の懇親会では、思いも掛けず、大学のゼミの先輩や大学院の先輩とお会いし、（人間）交際を深めることができました。

本年度13回目を迎える志木会賞については、卒業式に続いて、7団体（21名）と7名の生徒を表彰いただきました。志木会にご支援いただいている国際交流支援資金は、「多様な『交際』」の一環である国際交流について、活用させていただきました。様々な場面でご支援いただけたこと、たいへんありがたく存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

4月5日（金）には、長谷山彰塾長、大森正仁常任理事ご臨席のもと入学式が行われ、245名の新入生を迎えました。72期の彼らもまた、未来の志木会のメンバーとして、大きな戦力となることが期待されます。

今年は、5月1日を境に、平成から令和へと元号が変わりました。75周年記念事業の計画は、平成31年の4月に大森常任理事から担当常任理事に伝えていただきましたが、慶應義塾としての最終決定（ゴーサイン）は、令和に入ってからになります。元号をまたぐことにはなりますが、志木会の皆さまには、引き続き、ご支援いただければ幸いです。

末筆ながら、会員各位のご健勝と貴会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

副会長ご挨拶



副会長 上西 正之

この度、令和元年度慶應志木会副会長を拝命しました上西正之（23期）です。

小生が志木高校在学中は、自由闊達そして、奔放な風土の中で、多くの教員の方々に的確なご指導を頂いたことを懐かしく思い、感謝しております。

まず、副会長としてのミッションは、志木会の発展的な運営及び令和5年（2023年）の志木会大会、さらに、志木高校75周年へのご支援に向けて、坂上会長への最大限のサポートをさせていただくこととあります。

そして、担当としては、財務・渉外となっておりますので、1. 財務・経理・会計の適切且つ透明性の高い運営 2. 他の一貫教育校とのさらなる交流を全うして参ります。

最後になりましたが、本年度に坂上会長の下での新体制をスタートできることに心より感謝いたします。より素晴らしい慶應志木会に向けて前進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



副会長 大館 信

副会長（再任）のご指名を賜りました28期 大館信です。坂上会長新体制に於いても引き続き宜しくお願い申し上げます。

昨年、志木高卒業40周年記念ご招待を受け、我々の期も本年度還暦を迎えます。長い人生の中での志木高生活は、たった3年間ではありますが、母校への不思議な熱さは皆様も感じておられることと思います。本会は当時の楽しかった思い出、多くの恩師や友人に巡り逢えた事など、全ての事に感謝をもって楽しく語り合える場でありたいと願っております。更に現役志木高生ファーストを考え、出来る範囲で彼等のサポートをする体制を整えたいと思います。

今後共、皆様からの、ご支援、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

幹事長ご挨拶

幹事長 中村 弘司

この度幹事長に就任いたしました23期中村弘司です。8年前まで副会長という立場で志木会の運営に携わりましたが、今回は幹事長の立場で各期・クラブ幹事の皆様方と一緒に坂上新会長を支えることとなりました。任期の5年の間には、志木会大会に加え志木高創立75年という大イベントを迎えることになり、身の引き締まる思いです。幹事長として、各期・クラブ幹事の皆様を通じ、色々な願いをすることもありますが、母高と志木会の益々の発展のためにご協力よろしくようお願い申し上げます。また、沢山の会員に関わって頂ける風通しのよい志木会・幹事会にしたいと思っておりますので、併せて志木会行事へのご参加・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

【志木高・志木会行事日程】

| | 慶應志木会 | | 志木高等学校 |
|-----|--|---|--|
| | R元年度予定 | H30年度実績 | R元年度予定 |
| 4月 | 4/5 入学式 (9:30) | | 4/5 入学式 (9:30) 4/6 ガイダンス 4/25 健康診断 |
| 5月 | 5/25 *校内自然観察会 5/25 枇杷の会 (府中郷土の森博物館の古民家園) 5/27 幹事会 | 5/14 幹事会 5/26 *校内自然観察会 | 5/7～9 1年生総合学習研修旅行 5/23 運動会 |
| 6月 | 6/1 5高JKカップ | 6/2 5高JKカップ 6/23 第5回 志木マスターズ 姉ヶ崎カントリー倶楽部 6/23 枇杷の会 (初夏の北鎌倉から虚子記念館) | 6/1 慶早戦 6/24～28 第1回 定期試験 |
| 7月 | 会報発行 | 7/25 会報発行 | 7/1～3 クラスマッチ 7/17 第126回志木演説会 7/22～ 夏季休業 |
| 8月 | | 8/7 臨時幹事会 | |
| 9月 | 9/21 *校内自然観察会 | 9/3 臨時幹事会 9/22 *校内自然観察会 | ～9/7 夏季休業 9/24～27 2年研修旅行・3年見学旅行 9/24～25 1年救命講習 |
| 10月 | 10/12 歩こう会 "懐かしい田舎の風景「見沼たんぼ」 を訪ねて" 10/20 連合三田会出展 10/26 ホームカミングデー (収穫祭) (19期&44期:志木高) 10/26 枇杷の会 (横須賀の観音崎灯台界限) | 10/1 臨時幹事会 10/6 歩こう会 "多摩地区の名所を訪ねて" 10/21 連合三田会出展 10/27 ホームカミングデー (収穫祭) (18期&43期:志木高) | 10/26～27 収穫祭 |
| 11月 | 11/3 第6回 志木マスターズ 11/5 5高同窓会 | 11/3 第7回 志木会大会 (東京プリンスホテル 鳳凰の間) 11/24 枇杷の会 (晩秋の盧花恒春園界限) | 11/3 学校説明会 11/19～25 第2回 定期試験 11/27～29 クラスマッチ |
| 12月 | | | マラソン大会 12/17 第127回志木演説会 12/23～ 冬季休業 |
| 1月 | | | ～1/7 冬季休業 自己推薦入試 1/11～16 第3回 定期試験 (3年) |
| 2月 | 幹事新年会 | 2/26 幹事新年会 | 一般・帰国入試 2/20～25 第3回 定期試験 (1.2年) |
| 3月 | 3/24 卒業式 卒業40周年招待 (30期) | 3/24 卒業式 卒業40周年招待 (29期) | 3/24 卒業式 (10:00) |

* 志木高校内自然観察会は宮橋教諭 (理科) を中心に開催されます (卒業生参加可)

* 枇杷の会は本井英元教諭 (国語) のご指導のもとに開催されます

志木会費制度の変更について

平成 30 年度より、会費制度の変更をさせていただくことになりました。

従来、「5 年で 1 万円」(年 2,000 円換算)としてまいりました。会費納入率(平成 29 年度実績)は、全卒業生約 15,000 人の約 18%と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらには OB の繋がりを充実するため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更することになりました。

【新制度について】

- ① 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として 30,000 円／人を納付いただく。
- ② OB の従来の会費制度を基本、廃止する。(詳細、右記参照)

- すでに合計 3 万円以上を納入済の OB からは、今後会費徴収はしない。
- 但し、合計 3 万円を未納の OB (58 期以降)は、3 万円迄の残額を徴収する。

今回の会費制度の変更にあたり、志木高への支援、志木会活動をより充実させ活発なものにしていきたいと考えます。

また、2023 年に迎える「志木高創立 75 周年」に向けて、周年事業を財政的にも支援する体制を整え、寄付を募ることを予定しております。今まで以上のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

慶應志木会奨学基金について

志木高生が、家庭の経済状況の悪化により、勉学を継続できなくなる実状を学校から伺い、基準を設け、学校側で該当する学生を選択いただき支援する体制を構築。「慶應志木会奨学基金」制度として発足しました。これにより、平成 21 年度秋より毎年数名への給費(平成 29 年度までに合計 22 名)が実現できました。皆さまの奨学基金へのご協力を心より感謝しております。

現在、基金額で運用益を確保し、その後も皆様からのご協力をいただいております。長期にわたり給費の安定的な継続と給費対象者・給付費額の拡大を図るために、志木会では、寄付金の募集を継続します。引き続き、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお当基金へのご寄付は、慶應義塾への用途指定寄付金として税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。下記事務局にお問い合わせいただき、所定の申込書にてお手続きをお願いいたします。後日、慶應義塾より領収書並びに所得税・法人税の寄付控除証明書が送付されます。

【募金要綱】

募金単位 1口 1万円

払い込み方法 詳細は、慶應志木会事務局にお問い合わせいただき申込書を依頼ください。

TEL : 048-471-1959 Mail : info@keio-shikikai.jp

志木高教職員の動向

教員

退職▶専任 速水 淳子 君 (国語科)

非常勤講師 11名

新任▶専任 原田 千花 君 (外国語)

非常勤講師 8名

原口 惇 君 (国語科)

野口 尚志 君 (国語科)

職員

退職▶事務員2名、用務員1名、カウンセラー1名、
派遣(理科助手)2名、派遣(PC室助手)1名、派遣(電気室)1名

新任▶事務員1名、用務員1名、カウンセラー1名、

派遣(図書館)1名、派遣(理科助手)2名、派遣(PC室助手)1名、派遣(電気室)1名

訃報

吉田 信一 君 元外国語科・英語教諭 謹んでご冥福をお祈りいたします

『慶應志木会賞』について

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年で13回目を迎えました。

平成30年度は、7団体と7名の生徒を表彰いたしました。

1. 水泳部 (1名) 推薦者：水泳部部長 樋口 裕輔 教諭 (3年連続受賞)
H30年度関東高等学校水泳競技大会 400 mメドレーリレー出場
2. スキー部 (1名) 推薦者：スキー部部長 岡田 吉央 教諭 (2年連続受賞)
H28年度全国高等学校総合体育大会出場
第72回、第74回国民体育大会アルペンスキー競技会男子大回転出場
3. ワグネル・ソサイエティー男声合唱団 (6名) 推薦者：ワグネル・ソサイエティー男声合唱団部長 吉川 誠二 教諭
第73回関東合唱コンクール高等学校部門 A 金賞
4. 器楽部 (3名) 推薦者：器楽部部長 小池 陽 教諭 (3年連続受賞)
第24回西関東吹奏楽コンクール 銀賞
第24回日本管楽合奏コンテスト全国大会・高等学校A部門
最優秀賞ならびに審査員特別賞受賞
5. 端艇部 (3名) 推薦者：端艇部部長 池田 卓也 教諭 (7年連続受賞)
平成29年度関東高等学校選抜ボート大会5位、新人大会準優勝
第73回国民体育大会男子舵手付きクォドルブル1000m3位
6. 競走部 (5名) 推薦者：競走部部長 大瀧 学 教諭 (2年連続受賞)
第69回全国高等学校駅伝競走大会埼玉県大会 志木高歴代最高記録
7. ホッケー部 (2名) 推薦者：ホッケー部部長 徳竹 成之 教諭 (2年連続受賞)
第73回国民体育大会埼玉県代表 準優勝
第50回全国高等学校選抜ホッケー大会関東予選 埼玉県代表
8. 兼坂 俊之介 君 推薦者：井之浦 菜里 教諭
2018年度スポールブルジュニア世界選手権へ日本代表として出場他
9. 東使 勇樹 君 推薦者：宮崎 倫彰 教諭、蒲田 みどり 講師、鈴木 平 教諭
TOKYO STARTUP GATEWAY2018 決勝大会進出・第20回算額をつくろうコンクール奨励賞
10. 後藤 龍星 君 推薦者：曾根 弘幸 教諭、蒲田 みどり 講師、宮崎 倫彰 教諭
塩野直道記念第6回算数・数学の自由研究作品コンクール Rimse 奨励賞
第19回算額をつくろうコンクール銅賞・吉田光由賞
11. 榎本 光晴 君 推薦者：宮崎 倫彰 教諭、蒲田 みどり 講師、岡田 吉央 教諭
第15回和算に挑戦(中級の部) 優秀賞・第8回絵本翻訳コンクール佳作
12. 鳥井 一生 君 推薦者：宮崎 倫彰 教諭、蒲田 みどり 講師
第15回和算に挑戦(中級の部) 優秀賞
13. 和田 壮史 君 推薦者：宮崎 倫彰 教諭、蒲田 みどり 講師
第16回和算に挑戦(中級の部) 優秀賞
14. 三輪 亮太郎 君 推薦者：吉川 誠二 教諭
第19回高校生のための歌曲コンクール 優秀賞

以上

體育部會NOW / 第19回

軟式野球部 部長 松田 恒尚

わが軟式野球部は、現在3年生6名、2年生6名、1年生10名の計22名で活動しています。高校軟式野球は秋の新人大会、春大会、夏の全国選手権大会で1サイクルですが、現在のチームは、昨年の夏、猛暑の中スタートし、秋の新人大会は2学年の研修旅行と大会日程が重なったため辞退し、今春は1年生部員を加え、県大会準決勝進出（浦和実業に敗れ、惜しくも関東大会出場は逃しましたが……）を果たしました。夏の選手権では、その上を目指して日々練習に励んでいます。

私松田恒尚は平成10年に部長となって以来、20年余り軟式野球部を指導していますが、校内では決まった練習場所が得られず、サッカー場・ラグビー場の狭間のスペースや、北朝霞公園・大泉中央公園・秋ヶ瀬公園など校外のグラウンドを借りて練習している状況が相変わらず続いています。そういった練習環境にもかかわらず、歴代の選手たちが努力を重ねて現在のチームがあるのだと思います。

ところで、先日、県外に練習試合で出かけたおり、志木高軟式野球部OBの方とお会いする機会がありました。その方は新保雅司元教諭が部長の時代の選手だったそうです。

私松田が部長となる以前については、選手名簿や部長の交代などきちんとした部誌がまとめられていないので、そういった記録をまとめてみたいと思っています。志木会報をご覧になっているOB諸兄から、いろいろな思い出話なども寄せて頂けると幸いです。

文化部会NOW / 第19回

ワグネル・ソサイエティー男声合唱団 部長 吉川 誠二

慶應義塾大学ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は、名実ともに日本を代表する男声合唱団であり、皆様ご存知のことと思います。志木高ワグネル男声は、その弟分として活動させていただいております。

志木高には、以前音楽部があり（音楽部OBの皆様には現在も大変お世話になっており、感謝の念に堪えません）、その音楽部が残念ながら廃部になって以来、本校には合唱部がありませんでした。そんな折、2人の生徒が「収穫祭で合唱をやりたい」と言ってきて、ある英語の先生が教えてくれたという「Going Bananas」という名前でサークル活動を始めました。しばらくしてコンクールに挑戦することになった時、学校非公認だったため慶應志木の名を名乗ることができず一般枠で出場しましたが、幸いにも良い賞をいただくことができました。これを機に、学校公認の同好会として認めていただく際、様々な方のご尽力によって、由緒あるワグネルの名をいただくこととなったのが11年前です。

早いもので、今年3月には11回目の定期演奏会を開催することができました。またサークル時代からの生徒たちが繋げてくれた心のおかげで、昨年度は久しぶりに埼玉代表として関東合唱コンクール高校部門Aに出場し、全国大会には届きませんでしたが、金賞をいただくことができました。

志木高の中で、歌を本気でやることの難しさを感じながら、しかし男子の声の魅力を日々確信しながら、団の目的である「聴いてくださる方の心になにか届けることのできるうた」を目指し、これからも生徒たちと共に、真摯に歌と向き合い続けたいと思っています。

志木会の皆様には、いつも多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

クラブ戦績

| クラブ | 戦績 |
|-------------|---|
| 体育部會 | |
| 硬式野球部 | 第100回選手権南埼玉大会 1回戦対浦和西8-2 2回戦対坂戸西7-8×(延長10回) / 新人大大会 1回戦対藤9-11 / 秋季地区予選 1回戦対大宮東5-4 県大会代表決定戦対浦和東11-6 / 秋季県大会 1回戦対浦和実業5-6×(延長12回) / 春季地区予選 1回戦対川口工業8-5 県大会代表決定戦対県川口11-4 / 春季県大会 1回戦対熊谷商業2-5 |
| 競走部 | H30年度 インターハイ予選西部地区大会 県大会出場権獲得 5000m 横山竜也3位 800m 遠藤隆 / 国体予選西部地区大会 1500m 横山竜也6位 / 新人戦西部地区大会 県大会出場権獲得 1500m・5000m 峯村朋之 / 全国高校駅伝埼玉県大会20位 / 埼玉県駅伝競走大会 16位 / 奥多摩溪谷駅伝3位 |
| 卓球部 | H31.1 新人大大会 県大会出場(シングルス) 小島 |
| 庭球部 | H30年度 新人大大会県大会(個人シングルス) 鳴戸 ベスト64 出場 柳内・清末・高橋(個人ダブルス) 鳴戸・柳内ペア ベスト16 出場 清末・鈴木ペア 高橋・伊達ペア(団体戦) ベスト16 / R元年度 関東高校埼玉県予選会(個人シングルス) 鳴戸 ベスト32 伊達 ベスト64 出場 清末・高橋(個人ダブルス) 鳴戸・柳内ペア ベスト16 清末・高橋ペア ベスト32(団体戦) ベスト16 |
| ラグビー部 | 新人戦県大会 ベスト16 / 関東大会県予選ベスト8 / 全国大会県予選 ベスト8 |
| 端艇部 | H30年度慶應志木会賞(3年生3名) / 関東大会〔千葉県小見川〕準決勝5位(M2X) / インターハイ予選 準決勝C組3位(M2X) 準決勝B組3位(M1X) 準決勝A組3位(M4X+) / 第38回河口湖レガッタ 準決勝1組3位(M1X) 4位(M4X+) / 県新人戦 3位(M2X) 準決勝A組3位(M1X) 3位(M4X+) / 関東選抜大会 3位(M2X) 3位(M4X+) |
| バレーボール部 | H30 埼玉県西部地区春季大会 一回戦対朝霞2-0(勝利) 二回戦対川越東0-2(敗北) / インターハイ埼玉県西部地区予選会 一回戦シード 二回戦対狭山経済2-0(勝利) / インターハイ埼玉県予選会 一回戦対草加2-1(勝利) 二回戦対熊谷0-2(敗北) / 六大学附属リーグ戦 対早大本庄1-2(敗北) 対明大中野2-1(勝利) 対立教新大1-2(敗北) 対日本大学0-2(敗北) 個人賞 リベロ賞3位 榎本光晴 サブ賞3位 小寺智史 / 埼玉県私立高等学校バレーボール大会 予選リーグ 对本庄東0-2(敗北) 対城西川越0-2(敗北) 順位決定戦 一回戦対国際学院1-2(敗北) 二回戦 対浦和麗明2-0(勝利) / 西部支部技術講習会(一年生の部) 予選リーグ 対朝霞0-2(敗北) 対所沢西0-2(敗北) / 選手権大会埼玉県西部地区予選会 一回戦対西武台0-2(敗北) 敗者復活戦 一回戦対東野2-0(勝利) 二回戦対新座柳瀬1-2(敗北) |
| ホッケー部 | H30.4 インターハイ1次予選 対聖望学園・皆野1-0 対飯能南0-10 / H30.5 インターハイ2次予選 対聖望学園・皆野0-0 対飯能南0-3 / H30.10 県予選 対聖望学園・皆野3-0 対飯能南0-9 / H30.11 関東大会 対早稲田高等学校0-2 / H31.1 新人戦 対聖望学園・皆野2-0 対飯能南0-8 |
| サッカー部 | 埼玉県新人大大会西部支部予選 2回戦2-2(PK1-3) 坂戸西 |
| バスケットボール部 | H30.5 関東高等学校埼玉県予選 ベスト16 / H30.6 年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選 1回戦敗退 / H30.7 ウィンターカップ西部地区予選 3回戦敗退 / H30.8 西部支部大会 3回戦敗退 / 新人戦西部支部予選 4位 / 新人戦埼玉県大会 ベスト32 |
| 弓術部 | H30 全国高校総体個人(4/28) 豊田5/8 山田7/8 三次予選進出 / 関東個人選抜県予選(8/23) 豊田4/8 杉本結3/8 坂本4/8 山田5/8 / 西部地区大会(8/25) Hチーム 山田・杉本結・垂井9/24 Jチーム 石川・豊田・三輪9/24 個人 目島3/8 宮尾4/8 二次予選進出 / 全国選抜県予選(11/11) Aチーム 山田・杉本結・豊田9/24 二次予選進出 / 全早慶高等学校定期戦(8/29) 62 / 120より全8校中4位 / 六校対抗弓道大会(1/13) 62 / 120より全6校中4位 / 対筑波大学付属高等学校(1/27) 77 / 240より勝利 / 対早稲田実業高等学校(12/27) 105 / 240より勝利 |

| クラブ | 戦績 |
|-------------------|---|
| ゴルフ部 | H30 関東高等学校ゴルフ選手権 夏季大会 個人の部 決勝 金子拓馬98位 冬季大会 個人の部 決勝 金子拓馬66位 / 早慶戦 金子・村橋(勝利) |
| 剣道部 | 西部支部団体 2回戦 対川越東(0-3) 西部支部個人 2回戦敗退: 福田、3回戦敗退(県大会出場権獲得者なし): 小中、森、宮島 関東大会埼玉県予選団体 2回戦 対川越東(2-2代表戦負け) 学校総体埼玉県予選団体(定期試験期間にて不出場) 同予選会個人 1回戦敗退: 福田、小中 第63回五大付属高等学校剣道大会 第8位 しらこばと杯争奪剣道大会団体ベスト8(出場64校) 第9回対早稲田大学本庄高等学院対抗試合(勝ち抜き) 大将戦負け 西部支部新人大大会 2回戦 対山村学園(0-5) 埼玉県剣道大会個人戦 1回戦敗退: 小中、藤本 県新人大大会県選抜予選団体 1回戦 対入間向陽(2-2代表戦負け) |
| スキー部 | インターハイ予選 GS 岡本12位 若松13位 大橋24位 松田26位 門田38位 SL 大橋20位 小島35位 岡本DQ 若松DQ 松田DF 門田DF 小島42位 団体予選 境1位 岡本19位 大橋26位 小島32位 松田33位 門田35位 / 関東高校スキー大会 GS 若松78位 岡本101位 SL 大橋DF / 国民体育大会冬季大会スキー競技会 境DF / 上越国際カップ SL(1戦) 若松52位 大橋61位 松田63位 門田66位 岡本DF(2戦) 門田86位 岡本DF 松田DF 大橋DF 若松DQ / 関東スキー選手権大会 GS 岡本21位 若松25位 大橋29位 松田32位 門田41位 SL 松田27位 若松31位 門田42位 岡本DF 大橋DF |
| ソフトテニス部 | H30 インターハイ埼玉県予選 個人の部 1ペア 2回戦進出 / 埼玉県選手権(高校生の部) 第1次予選西部地区1ペア ブロック準優勝 / 東京六大学附属高校大会 個人の部 1ペア ベスト32 1ペア 2回戦 / 埼玉県新人大大会西部地区予選会 個人の部 1ペア ベスト48 |
| 水泳部 | 埼玉県高等学校総合体育大会 男子総合8位 50m自由形 奥山丈太郎4位 100m平泳ぎ 奥山丈太郎4位 400mメドレーリレー【足立・奥山・佐々木・木根】6位 / 埼玉県高等学校水泳競技新人大大会 男子総合5位 50m自由形 奥山丈太郎 優勝 100m平泳ぎ 奥山丈太郎2位 200m自由形 木根景人6位 100m背泳ぎ 足立開6位 400mリレー【橋本・木根・佐々木・奥山】4位 400mメドレーリレー【足立・奥山・佐々木・木根】5位 200mリレー【橋本・木根・佐々木・奥山】5位 |
| 軟式野球部 | H30年度 第63回選手権埼玉大会 1回戦対花咲徳栄3-2 鹿山-内田(開) / R元年度 埼玉県高等学校軟式野球春季大会 1回戦対川口東3-2 松尾-栗山 3塁打 青木 2塁打 中条 準決勝対三校連合(浦和ルーテル・大宮ろう・坂戸壘) 3-1 松尾-栗山 2塁打 佐藤 準決勝対浦和実業6-3 松尾、内田-栗山 |
| 空手部 | 関東大会埼玉県予選 個人形 阿部倅地 優勝 / アジア大会 個人形 阿部倅地 優勝 / 関東大会 個人形 阿部倅地5位 / 全国大会埼玉県予選 個人形 阿部倅地 優勝 / 全国大会 個人形 阿部倅地 ベスト32 / 新人戦 個人形 阿部倅地 優勝 個人組手 長谷史也 ベスト16 / 埼玉県選抜大会 個人組手 服部壮志 ベスト16 / 関東選抜大会 個人形 阿部倅地 準優勝 / 全国選抜大会 個人形 阿部倅地 ベスト16 |
| 文化部会 | |
| 器楽部 | 第59回埼玉県吹奏楽コンクール地区大会<<高等学校Bの部>>シード演奏 / 第59回埼玉県吹奏楽コンクール県大会<<高等学校Bの部>>金賞 / 第24回西関東吹奏楽コンクール<<高等学校Bの部>>銀賞 / 第24回日本管楽合奏コンテスト全国大会<<高等学校A部門>>最優秀賞および審査員特別賞 / 第4回ポピュラーステージ吹奏楽コンクール全国大会 3位および審査員特別賞 |
| ワグネル・ソサイエティ 男声合唱団 | 第61回埼玉県合唱コンクール<<高等学校の部>>金賞受賞(埼玉県代表) / 第73回関東合唱コンクール<<高等学校部門A>>金賞受賞 |

俳句「志木・枇杷の会」で友達の輪を広げませんか！

枇杷の会幹事・深瀬啓司 君（15期）

「さあ初夏ですよ。俳句のある生活ははじめませんか。」夏井いつきさんも言っています。プレバドのお陰で「俳句は難しい」という偏見は拭い去ってくれました。それは大きな功績です。しかし枇杷の会はプレバドのような競い合いとは無縁、俳句という遊びが同窓の仲良しになるきっかけになっています。枇杷の会では都内、あるいは郊外の一度は行って見たかった自然環境に恵まれた公園、寺社などに集合し思い思いに句を詠みます、句会の後は軽く一杯を楽しみながら友人の消息や昔話などを語り合い、世代を超えた仲間作りが出来ます。志木校に入って本当に良かったと思える絶好の機会です。

今年度は次のように開催します。

志木会会員各位の参加をお待ちしています。また、ご家族ご友人の参加も大歓迎です。

◇実施済 令和元年 5月25日（土） 立夏の青葉や紫陽花が見頃の府中郷土の森公園、古民家園の江戸和室

◇予定 令和元年10月26日（土） 初秋の横須賀観音崎灯台周辺

詳細はメールマガジンで告知します。参加の申し込みは志木会事務局まで。

◆ 府中郷土の森、古民家園にて ◆

- | | |
|-----------------|-----|
| ・影真下府中の森に夏きたり | 伸次 |
| ・小満や茅葺き屋根に日が当たる | 洋太 |
| ・水鉄砲給水役と撃たれ役 | 次郎 |
| ・茅葺きの旧家の土間に涼みをり | 善兵衛 |
| ・雀の子一拍遅く飛びにけり | たから |
| ・栗の花水車の音の低くして | かおる |
| ・重たげに回る水車や夏来る | 一舟 |

平成14年6月に志木高で旗揚げしてから、今年5月の府中郷土の森界限句会で47回目になります。第1回句会からこれまで丁寧に指導頂いている、本井英元教諭に感謝です。これを機会に句会を覗いてみませんか。



今迄の活動は志木会ウェブサイトに掲載しています
<https://www.keio-shikikai.jp>

2019 志木歩こう会 “懐かしい田舎の風景「見沼たんぼ」を訪ねて”

令和に入って初めての、恒例の「志木歩こう会」を今年度は下記の要領で実施いたします。

志木会会員各位の参加をお待ちしております。ご家族の参加も歓迎です。

開催日時 : 令和元年 10月12日（土）
 午前9時30分～午後4時頃 *小雨決行

集合場所 : JR 武蔵野線 **東浦和駅** 改札口
 午前9時30分集合(歩行距離約14キロ)

参加申込 : 9月27日（金）までに志木会事務局宛てメールにて
 (参加募集人数：20名程度先着順)

費用 : 昼食など約3,000円

案内人 : 12期 金井三喜雄

東浦和駅 ⇒ 見沼代用水(西縁) ⇒ 見沼通船堀 ⇒
 見沼代用水(東縁) ⇒ 大崎公園 ⇒ 加田屋新田 ⇒
 見沼自然公園(近くの農家レストランで昼食) ⇒
 慶應義塾大学薬学部キャンパス ⇒ 見沼弁財天 ⇒
 七里総合公園 ⇒ 七里駅(東武野田線)解散

※ JRには「浦和」の名がつく同じような名前の駅がありますから間違えないように注意してください

「見沼たんぼ」は埼玉県さいたま市・川口市にまたがる広大な緑の空間で、武蔵野の田んぼと畑・雑木林が織りなす田舎の風景を昔のままに見ることができる懐かしい田園地帯です。

広々とした緑の景観を秋の風に吹かれながら歩き楽しんでみませんか。



同期会 & OB会 だより

第 11 期 —昭和36年卒—



第11期「遊志会」は平成31年3月28日に第95回ゴルフ会を大井松田のチェックメイトCCにて12名の参加により開催致しました。当日は薄曇りの天気でありましたが、心配された雨も無く和気藹々の中でのラウンドとなり、みごと後藤敬一君が優勝、次回幹事を引き受けて下さる事となりました。

次回は令和元年6月13日(木)石坂GCにて開催します、奮ってご参加ください。

「遊志会」ゴルフ会は昭和52年発足以来42年経過し、あと5回で100回を数えることとなりますが、会員は皆さん「喜寿」を迎える歳となり年々参加者が減少していることから、100

回記念大会を「繰り上げ実施」すべく本年からは年3回開催とし、来秋には記念大会開催にこぎつけるよう計画しております。このところ不参加の諸兄も参加のご意向が伝わって来ておりますので、大いににぎわう大会になろうかと期待しております(幹事:細谷・馬淵)

写真は「後列左から:後藤敬一・服部光伸・森原孝夫・扇原浩志・山口浩・川瀬忠夫・鴻巣晋顕・細谷勝庸」
「前列左から:称原幹夫・山本久方・馬淵祥宏・望月洋」の諸兄

第 13 期 —昭和38年卒—



四木会(13期の同期会)では定例会、ゴルフ会以外に散策会をやっています。

きっかけは11年程前に幹事の故千葉君から四木会にゴルフ以外に歩く会ができないかと相談されたことからです。

とりあえず日帰りで手軽な高尾山や奥多摩ハイキングからはじめましたが、その後泊りがけのハイキングをやることになりました。

尾瀬の関係会社におられた丸地君による山小屋の宿泊やコース設定など全面的なサポートがあり尾瀬ハイキングを通算3度実施しました。また他に箱根の金時山登山も泊りがけで実施しました。

ここ数年は鎌倉などの地域の歴史に詳しい市川君のガイドで歴史解説付きの散策を鎌倉3回と横浜1回行い好評でした。

今年の1月30日(木)は一昨年秋の紅葉・鎌倉天園ハイキングに続き平塚君の案内で鎌倉七福神巡りを実施しました。

参加者はメンバー及び家族、友人を含めて26名で、当日北鎌倉駅に9時30分に集合し、浄智寺(布袋尊)、鶴ヶ岡八幡宮(弁財天)、宝戒寺(毘沙門天)、妙隆寺(寿老人)、本覚寺(戎尊神)、長谷寺(大黒天)、御霊神社(福祿寿)の七福神を徒歩で巡りました。行程は7.5km約4時間散策でした。その後江ノ電で七里ヶ

浜駅まで移動、駅前のスペイン居酒屋で昼食兼懇親会を行い盛り上がりました。（写真は長谷寺前の集合写真です）

この散策会は現在年1回程度計画しており、参加者も始めたころは10名前後でしたが、近年20名を超えるような参加があり盛況になっています。

13期 中鉢 智晴

第 15 期 —昭和40年卒—

「15期 第40回亦楽会報告」



15期の同期会「亦楽会」が昨年10月25日（金）に塾ゆかりの「交詢社」で行われました。恩師2人（後藤元教諭と松井元教諭）を含め41名の参加を得て盛大に催されました。ゲストとして塾員（昭42工）でもあります北城恪太郎様（元日本アイ・ビー・エム社長、現国際基督教大学理事長）をお迎えし「経営者として学んだこと」として講演をしていただきました。豊富な経験を基にしたお話で感銘を受けました。その後、恩師2人に続いて多くの会員の近況報告があり楽しい会でした。最後に「若き血」の斉唱で終わりました。帰りには家族へのお土産に西岡君からのお酒（西岡本店・花の井）と平野井君からの稲

庭うどん（秋田名物）が提供され全員にどちらかが渡りました。今年は新幹事達による開催となります。塾卒業後50年が経ちました。亦楽会は「朋有り、遠方より来たる。亦た楽しからずや。」です。また元気な姿で一緒にしましょう。

15期 龍田 尚哉

「15期亦楽会 E 組幹事団結成秘話」

志木会15期（亦楽会）は昨年40回目の記念大会を行い、毎年50人前後の仲間が集まり楽しくワイガヤをやっておりますが、一つの悩みは毎年クラス幹事が交代する為、当日会場で翌年の幹事を決めるのに結構手間がかかっている事です。そこで妙案を考えたのが我が亦楽会E組の一昨年度クラス幹事横澤君と高野君です。両君の計らいで一昨年の亦楽会の会場でE組の次年度以降の幹事を平成30年から令和8年まで決める段取りをしてくれました。更にここからがE組の皆さんの楽しいところですが、幹事を引き受けた以上少なくともその年度までは元気でなければいけないということで、横澤君の提案でE組幹事団結成決起集会を兼ね



た新年会を昨年1月16日（火）三田の「湯浅」でやることとなりました。亦楽会は立食であるためクラス仲間とゆっくり飲談できないこともありミニクラス会のような幹事団7人の集まりとなり実に楽しいひと時でした。更に昨年7月末には、この幹事団の集いの輪を広げ10人で暑気払いをやり、続いて今年の1月にはE組新年会を写真にあるように遠く神戸からの大西君も参加し12名で開催いたしました。既に今年7月31日（水）17時より湯浅でのE組暑気払いの集いも決まっております。次回回は20名を越すにぎやかな集まりとなりそうです。志木会の各期それぞれ多種多彩な集いが企画されていると思いますが、同期の集まりに加えて各組ごとのクラス会お勧めします。

15期 倉田 伸二

第16期 —昭和41年卒—



16期同期会である志世会の主行事は月例会、春秋2回のゴルフ会です。月例会は 毎月第4木曜日18時～20時、秋葉原・万世本店地下1階の「呉越同舟」で開催しております。予約不要、割り勘（3～4千円程度）という気安さからか、今年で満10年継続、参加者も7～10名と安定してきました。また、年2回程度の頻度で、パリ在住の吉田進君、シンガポール在住の須釜一夫君が事前予告付きで参加してくれております。

まだ参加されていない方は、一度覗いてみてはいかがでしょうか。懐かしい顔に会えるかも知れません。1月だけは田町・慶應

仲通り「湯浅」で開催（飲み放題、5千円）、今年は21名の参加で、半世紀振りに出現の丹波篠山・長澤彰彦君、野球部ガラスのエース臼井正和君は会場を大いに沸かせました。

9月20日絶好のゴルフ日和、筑波C.Cで開催の第20回志世会コンペは20名参加で緒方信次君が、4月4日六分咲きの桜の下アスレチック・ガーデンG.Cでの21回コンペでは、12名参加で藤井泰之君がそれぞれ優勝しました。

11月3日の志木会大会へは20名が集合、遠路はるばる愛知県知立市より吉澤一彦君、伊豆より野口順規君、そして約50年振り同期行事参加の池田英人君、本当にお久しぶりでした。

16期 近藤 隆夫

第17期 —昭和42年卒—

ファンタジーを生きる



「エム ナマエ君を偲んで」

我ら同期のエム ナマエこと生江雅則君が 平成31年3月6日 午後8時30分 亡くなりました。

人工透析を終え帰宅途中、心筋梗塞にて倒れ、奥様の胸に抱かれながら最後は苦しむことなく、穏やかに笑みを浮かべて亡くなりました。

志木高時代は美術部、慶應義塾大学時代は漫画研究会に所属し在学中よりイラストレーターとしてデビューし、絵本作家としても活躍。昭和61年糖尿病にて失明と同時に人工透析を開始。余命5年と宣告される。童話作家として活躍を始め、処女作 長編童話にて児童文芸新人賞を受賞。失明と人工透析と、絵本作家として致命的なダメージを受けながら明るく前向きに生きてきた。

私生活において、透析病院の看護師である今の奥様をくどき落して結婚。愛妻を喜ばすため、気軽に描いた絵が認められ平成2年全盲のイラストレーターとして復活。その後、サンリオ美術賞、日本児童文芸家協会特別賞を受賞。国内各都市やニューヨークでの展覧会で全米デビュー。

彼は「夢の実現」というファンタジーを生きてきた素晴らしい男でした。

生江！ お前はよく頑張った！
ありがとう。

17期 二島 建夫

第20期 —昭和45年卒—



3月23日（土）に東京 学士会館で同期会が開催され、27名の方が参加されました。いつもと違い土曜日の午後ということですので予定を入れられていて参加できなかった方もいました。私学の我々には何となく場違いな会場でしたがそんなことにはお構いなく、楽しいひと時を過ごしました。志木高へ最初に来た留学生ユンカーマン君も久しぶりに参加され昔話に花が咲き、楽しいひと時でした。

当日の写真は以下のURLからも閲覧出来ます。

http://www2u.biglobe.ne.jp/~shikikai/20190323_20/index.html

今年の11月29日（金）～30日（土）に3年ぶりの泊まりの同期会を静岡で予定しています。詳細が決まりましたら連絡させていただきます。

20期 金子 博志

第22期 —昭和47年卒—

志木高入学より50年となりました



昨年開催の同期会にて、これからは毎年集まろうとの声があり、本年も3月30日（土）に帝国ホテル内「東京三田倶楽部」で開催の運びとなりました。開催準備のための幹事会が1月16日に開かれ、70名の参加者を目標に準備活動がスタートいたしました。2月上旬に開催の案内状が発送されたのは、事務局長をつとめる増田君の孤軍奮闘の活躍のおかげでした。

事務局のメンバーも参加者がどれだけ見込めるのか全く分からない状況であり、住所不明者のリストを中心に各メンバーあたり5名の参加者を発掘しようと活動をはじめたのですが……これが全くの不調。その悪い流れを完全に断切る活躍をしてくれたのが、案内状の幹事団のメンバーから何故か（？）漏れていた衛藤君、「みんなの顔が見たい！」その一念だったとか、今年の二八会成功の影の功労者は衛藤君でした。

季節外れの寒さに震え、桜も満開となった3月30日、「東京三田倶楽部」に参集した二八会メンバーは67名。例年通り、21名となった物故者に対する黙祷から二八会は始まりました。今年は志木高に入学してから50年という節目の年でしたので、幹事のアイデアによる、卒業アルバム掲載の各クラスの集合写真などをプロジェクターで映し出し、時間を遡ったメンバーの新旧比較で大いに盛り上がりました。やはり志木高の仲間と過ごす時間は楽しかった。

今回の同期会の運営にご尽力いただいた幹事の方々に感謝するとともに、参加された仲間及び今回見えなかった仲間の健康と益々の精進を願いつつ、次回開催は、1年後、令和2年3月28日（土）帝国ホテル内「東京三田倶楽部」にて開催いたします。また、お会いできるのを楽しみにしています。

22期 深澤 澄

第28期 —昭和53年卒—



令和元年6月1日 18:30～後樂園飯店にて、本年度還暦を迎える33名の出席を以て28期同期会が開催されました。

10年目を迎えた今回は、大阪より参加の清水仁氏（D組）の乾杯のご発声に続き、食事に歓談に大いに盛り上がり、元應援指導部主将・清水要氏（A組）の指揮の下、若き血とエールにてお開きとなりました。

今回ご出席頂いた方々、また残念ながらお会いできなかった方々も、次回お会いすることを楽しみにしております。

今回も会場設定にあたりご尽力頂きました後樂園健康保険組合・幸山竜哉氏（B組）、また取り纏めをして下さった学年幹事の伊能重雄氏（A組）、池田欽哉氏（D組）に改めて御礼申し上げます。

28期の皆様でメールアドレス未登録の方は今後のイベントのお知らせの為に是非 info@keio-shikikai.jp 気付・28期大館宛までメールアドレスをお知らせください。

現在約150名の登録を頂いておりますが、更に輪を広げたいと思っております。同期の方の消息情報をご存じの方、また、皆様の近況報告等もお寄せ下さい。

28期 大館 信

バスケットボール部OB会



バスケットボール部OB会である野火止会では、毎年、年度末の3月に年次総会を開いております。

この度、そのタイミングで、年次報告を作成・共有するという試みをいたしました。役職者からの挨拶、現役の一年間の戦績、OB会としての活動の報告、会計報告、総務からのお知らせから成る10ページほどの報告が出来上がり、メーリングリストとFacebookのグループページで共有をしました。

OBがこれを読んだときに、体育館で懸命に汗を流した高校時代を思い出し、また現役高校生たちがバスケット部の歴史を着実に刻んでくれていることを確認して、会としての一体感を醸成出来ればとの思いで作成したものです。

携わってくださったメンバーの努力の甲斐あり、非常に素晴らしい出来栄えに一同満足しております。とりわけ、報告内でも取り上げた小原君と吉敷君（平成27年卒）の大学体育会での活躍は、慶應スポーツ新聞のコラムで取り上げられるなど、志木高バスケット部のプレゼンスを高めてくれました。

翻って、今年の現役は、5月に関東大会予選、6月にインターハイ予選と勝負の時が続きます。

冬の新人戦大会では県でベスト32でしたが、トップ2強以外は実力差が少ないと見られ、我々OBとしては冬の成績を大幅に超える戦績を残してくれることを期待して、応援に励みたいと思います。

41期 平賀 敦巳

龍志会(ソフトテニス部(軟式テニス部)OB会)

懐かしい志木高学食を会場として、平成31年4月7日（日）正午から、ソフトテニス部（以前は軟式テニス部）のOB会（龍志会）を開催しました。久々9年ぶりの開催でした。400名強のOBのうち94名ものOBが集まり、元顧問の龍田元教諭も交え、大いに旧交を温めました。参加したOBは昭和45年（1970年）卒から平成27年（2015年）卒まで46代にわたり、脈々と続いてきた歴史を感じました。



楽しい話は尽きず、大盛況のうちに予定の2時間半はあっという間に過ぎていきました。学食で飲んだビール（近くの酒屋さんから調達）の美味しかったこと、消費スピードの速かったこと！

好天にも恵まれ、希望者は懐かしいコートでソフトテニスも行いました。会の冒頭で、現役部員の紹介も行い、世代を繋ぎました。（現役部員は酒席を避けて冒頭で残念ながら退室）。今回のOB会の残金から、ボール3ダース、スポーツ飲料3ケース、現金約5万3千円を現役に寄贈しました。

32期 山口 徹雄

寄宿舍同窓会（土塊会）

「寄宿舍同窓会（土塊会） 寮1期～5期生 / 平成30年7月7日開催」



昭和37年8月（1962年）寄宿舍有隣寮（高翔寮は2年後）が完成してから56年、最後の土塊会が開催されてから32年、「元気なうちに寮の仲間で集まろう！」という声があがり、寮5期の17期生が古稀を迎える節目に70歳代OB同窓会を開催することになった。入寮時1年生だった3期の杉村、田中（旧姓松村）、

大西が中心になり年明け早々開催準備に着手、幹事の皆さんの支援を得てこの日の開催に至った。

「先輩お久しぶりです！」「おい元気か、変わらん！」50数年ぶりの再会が実現した三田ファカルティクラブでは、会場に入るなりそこかしこに人の輪ができて会話が飛び交う。皆さんの楽しく嬉しそうな笑顔。

当日は台風7号の影響で（平成30年7月豪雨）で数名の欠席者があったものの、159名寮生のうち4割近い参加を得て一安心。舎監を務められた故大館元教諭、故渡部元教諭そして物故者23名に対する黙祷、献杯で会はスタート。神田君（4期）の司会のもと、舎監の松井元教諭のスピーチ、後藤元教諭のハワイアン演奏に続き、全員が近況を話し誠に楽しい一時を過ごすことができた。

感謝！感謝！（なお当日の会費剰余金は日本赤十字を通じ水害被災地に寄付）

ご存じだろうか。慶應義塾にとって初めての寄宿舍の創設に際しては「自由と規律」（岩波新書／池田潔著）等も参考に、雨宮校長、大館主事を中心に多くの意見交換、調査がなされたと聞いており、また有隣寮完成時には小泉信三元塾長も視察に来られたとのことである。平成2年（1990年）寄宿舍は800余名の有為な人材を送り出し28年の歴史を閉じたが、その復活を念じてやまない。

15期 大西 登

（幹事 山中晴之14期/大西恭二、神田静二16期/大島均、真壁修17期/
志木会事務局の星野さん、どうもありがとうございました）

■お詫び■

昨年度の会報において、8期及び20期の原稿が掲載から漏れてしまう事象が発生しました。会報作成の委託事業者変更及び作成フロー変更に伴う作業ミスが原因でした。

本件については、寄稿者に対してお詫びした上で、当該原稿にあってはメールマガジンにおいて、これを掲載いたしました。

せっかくいただいた原稿の掲載が出来なかったことについて、この場を借りて再度深くお詫び申し上げます。また、今後の再発防止に努めて参ります。

（編集部）

第6回

志木マスターズゴルフ2019 開催ご案内

志木会会員の皆様

平成26年(2014年)から始まった「志木マスターズゴルフコンペ」も6回目を迎えることになりました。
今年も11月3日(日・祝)に東千葉CCで開催いたします。

昨年は、志木会大会(於・東京プリンスホテル)の関係で6月開催でしたので、約1年半、お待たせいたしました。

20組80名の枠を確保しております。昨年も7期の大先輩から50期前後までの幅広い年代の方々にご参加いただきました。
回を重ねるごとに参加人数も増えてきておりますので、早めにお申し込みいただきますようお願いいたします。
同期の方々ならびに職場や所属コースでの、志木会繋がりの皆様のご参加をお待ちしております。

<申込先>

- ・メール: golf@keio-shikikai.jp
- ・電話: 048-471-1959 (月・火・木・金 9:30~16:30) 志木会事務局・星野(慶應義塾志木高等学校事務室内)
事務局幹事・ゴルフ担当 天野徳雄(36期)

開催概要

- 開催日時: 令和元年11月3日(日・祝日)
TEE UP 8:00~8分間隔スタート(西コース OUT IN 各10組)
※開会式は行いませんので各自のスタート時間に遅れないようお越しください。
- 開催場所: 東千葉カントリークラブ
<https://www.orix-golf.jp/higashichiba/index.html>
〒283-0825 千葉県東金市滝503
TEL: 0475-54-2681 / FAX: 0475-55-1480
- アクセス: 車→千葉東金道路・圏央道 東金ICより2km
電車→JR外房線 大網駅よりタクシー約20分
- 参加会費: 約¥25,000 - セルフカート付、昼食、パーティー代、コンペ会費含む
※パーティー代を含むコンペ会費¥3,000のみ受付デスクにてチェックイン時に徴収、その他は個人精算とさせていただきます。
- 競技方法: 新ペリア方式(同ネット順位 1.年齢 2.ハンディ)
スルーザグリーンノータッチ、グリーン上ワングリップOK
その他ローカルルールに従ってください。
- 表彰内容(案): ★ベスト5(優勝/準優勝/第3位/第4位/第5位)
★飛び賞10・20・30・40・50・60・70位
★会長賞7位
★ドラコン4本&ニアピン8本・計12本
★ベストグロ
★BB
★その他 当日賞品に応じてお楽しみ賞あり ※上記表彰内容は変更になる場合がございます。
- ドレスコード: ジャケットの着用をお願いいたします。カーゴパンツ、ジーンズ、Tシャツ、サンダル等でのご来場はご遠慮下さい。



志木会ポロシャツのお知らせ

5年後の志木高75周年を見据え、志木会ポロシャツを作りました。
数量に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

価格: ¥7,000 -(税込)

サイズ: S、M、L、XL *ユニクロと同等のサイズです。

<購入方法>

令和元年8月からは志木会事務局へお申し込みください。

品代+送料(実費)が掛かります。

連絡先: 慶應志木会事務局 担当: 星野

MAIL: info@keio-shikikai.jp TEL: 048-471-1959(直通)



第7回慶應志木会大会開催レポート

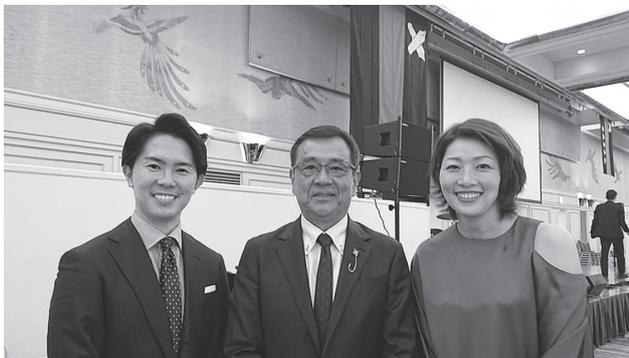
平成30年11月3日(祝)、新装された東京プリンスホテル鳳凰の間にて開催された第7回志木会大会。コンテンツ満載の濃縮された2時間半はあっという間！笑顔が溢れた交流の場となりました。



▲松下前会長から後任会長として23期 坂上 隆彦君が紹介されました。



▲志木会設立30周年を祝う花束が、長谷山彰塾長から届きました。



▲司会として盛り上げてくれたお二人(左:大村和輝、右:小川知子)と松下前会長。



▲志木会特別表彰。学連選抜の一員として箱根駅伝を激走した65期・根岸祐太君、おめでとう！

収穫祭の熱気よ再び！

音楽バンド合戦

～5組のバンドが志木会大会を盛り上げてくれました。～



志木会大会のステージに立って

松下前会長のお声がかりのバンド合戦に、マンクラOBが70歳近い者から20歳代の若者まで老若混成チームで楽しく出演させていただきました。バンドの皆さんの熱演で大いに盛り上がった会場の雰囲気、後藤元教諭のご登場で落ち着いた雰囲気になった後に、アコースティック楽器集団として弾かせていただきラッキーでした。お聞き頂いた皆様、企画頂きました関係各位に感謝しております。また、演奏仲

間の皆さん有難うございました。ここで、一点ドチョンボのお詫びを、というのも一番大事なコンサートマスターをつとめていただいた、斎藤一郎さんのお名前をどういう訳か出演者名簿から落としてしまい、後から知ってビックリ仰天平謝り、斎藤さんホントにごめんなさい。でもまた機会があったらよろしくお願ひします。

マンドリンクラブOB 植村・徳永

志木会大会のステージに立って

長谷山塾長を始め約1,000名の塾員の前で思いっきり歌えたのは何とも爽快でした。今回参加の5バンド中、我々“LonesomeCowboys”は昭和38年卒業者を中心とした最古参の「バンド」でした。それを知って「音楽の世界では歳は無関係!」と若くない血が燃えました。

1950年代からAmerikkann

“Country&WesternSong”は、日本の戦後の歌謡曲、演歌と共に第二次世界大戦後の復興期の人々の心を支え続けたように

「Beautiful Bouquet」のユニットで出演させていただいた18期吉沢守です。昔の仲間とも再会でき楽しいひと時を過ごさせて頂きました。約1,000名参加という大規模な企画を完遂されたスタッフの皆様に感謝申し上げます。

私達のグループは結成約10年。現在は千駄ヶ谷の「こんとん館」(渋谷区千駄ヶ谷4-10-11 Tel.03-3405-0740)に月2回出演、ブルークラス、ジャズ、オールディーズなどを演奏、お客様参加型のライブで楽しんでいます。



「今回は衣川君が実行委員長なので、バンド合戦に参加して盛り上げよう!」と皆で相談したのが1年前。我々のレベルでは到底無理!でも熱意だけは示そうと半ば強引にメギリギリの本番約2か月前にエントリー。直前にサイドギターがアメリカ大陸旅行、ドラムスが緊急入院した事から一度は辞退しましたがドラムに19期の小森先輩、ボーカルに50年前のメンバー大久保君が急遽参加して下さり再度の出演通知を。しかし肝心の皆の練習スケジュールが全く合わず、全員揃ったのが本番直前のリハ1回のみとドタバタの連続。結果はやはり聞けたものでは

昨年の第7回志木会大会のバンド合戦に出場させていただきました。アマチュアバンドが1,000名前後の聴衆を前に演奏する機会はずがなく、35年前の収穫祭音楽祭に続き、志木会大会でもそのような機会を与えていただきましたことに深く感謝いたしております。

大会当日、多くの先輩方が積極的に参加されているご様子を拝見し、若輩ながらバンド合戦に出場させていただいて感じましたことは、我々が在学していた頃の志木高は、塾内においては歴史

運営に関わって

第7回志木会大会においては、僭越ながら大会御来賓の受付担当を仰せつかりました。失礼があっては許されないということで、強い緊張感をもって臨みました。

御来賓の受付、待合室までの誘導と、幹事の先輩方と電話やLINEで密に連絡を取りながら対応を進めることで無事に乗

ります。今、日本の全国広範のライブハウスでは70代から80代の世代のカントリーファンが歌い踊り懐古を楽しんでおり、その勢いは衰えることを知らない感じがしています。

大会当日も鳳凰の間に集結した約100名の同期の連中はノリノリでフィーバーしておりました。5年後の次大会に「再度参戦!」を誓い合ったのであります!!

13期 村岡泰夫

私は志木高卒後文系へ進み、中退。岩手医大卒後、慶應病院内科入局。昭和63年医療法人平和会を開設(人工透析)。その間、音楽活動は30年のブランクの後、55歳で再開しました。

また、志木高卒の医療関係者の集いとして、平成10年「慶應志木医志会」を設立し、毎年1月最終土曜に同窓会を開催しています。

音楽好きな仲間が「こんとん館」(オーナーは私です!)に集結し一緒に楽しんでいますので是非遊びにきてください!

18期 吉沢守



無く……。[演技者は必死!でも誰も聞いていない。これぞ志木高OB!(小森先輩談)]という訳で神聖な会を不協和音で汚してしまい申し訳無く思います。しかしお陰様で「大変な汚点」いや「大変良い思い出」となりました。志木会関係者皆さまのご尽力と他の出演者の方々に改めてお礼を申し上げます。演奏後、楽屋での皆の第一声は「(前座で)良かったー!(大笑い)」。

一生心に残る「恥しくも楽しい思い出の一日」を有り難う御座いました。

20期 窪田

の若い学校だと思っていましたが、あれから30余年の歳月が過ぎて、いつのまにか伝統を自負できる高校とOB会に成熟したのではないかということです。しかも、堅苦しさのない校風そのままです。

この愛すべき母校とOB会のご発展を願ってやみません。今後、志木会大会で再びバンド合戦の企画が持ち上がる時に備えて、日々、体力維持に努めたいと思います(笑)。

35期 宮澤良幸

り切ることが出来たと思います。

期数を超えてスムーズにコミュニケーションが取れるのは志木高の絆があってこそ為せるものだと実感し改めて志木高の絆の有難さを感じた貴重な一日でした。

43期 幹事 高松智之

ホームカミングデー報告

18期 大場紹吉

卒業50周年の18期、25周年の43期が10月27日
収穫祭初日に志木会主催のホームカミングデーに参
加いたしました。18期は50名と多くの参加があり旧
交を温めることができました。終了間際に黒田君から、
「当時のボート部は県下No 1の実力から始まり、顧問
の野口先生とのやり取りなど裏話」が披露され盛り上
がりました。

終了後は、校内を散策しながら50年前の記憶を皆
で呼び起こしながら、サッカー場・野球場・元剣道場
跡地へと。二次会はベルセゾンにて行われ。こちらも
36名の参加がありました。席上、幹事の交代の提案
があり、長年会を引っ張ってくれた伊藤博行君に代わ
り青沼広海君が、黒田豊君に代わり大場紹吉が決まり
ました。

我々18期は、3年在学当時全員一致で「過去にとら
われるな」と粋がっていた為に、歴代卒業生の中で唯

一卒業アルバムの無い期となり、同期会では顔と名前
を一致させることが唯一名札と記憶のみの世界です。
平成19年の卒業式に参加の際に今からでも作ろうと話
が持ち上がったのですが、実現せずじまいでした。

遅まきながら、HPを立ち上げて、連絡・写真の掲載
などを試みております。

HPアドレスは<https://keioshiki18.jimdoofree.com>
少ない写真ですが交流の場にできればと思っていま
す。同期の方、しまい込んでいる写真ありましたら送
付されたし。



19期 / 44期 ホームカミングデーのお知らせ

日時 令和元年10月26日(土) 12:00 ~

場所 志木高管理棟3階 会議室 **会費** 無料

申込 出席ご希望の方は志木会事務局までご連絡下さい

収穫祭お知らせ

生徒会収穫祭実行委員会 委員長 有吉諒真 君

皆さんこんにちは。第72回収穫祭実行委員長になりました有吉諒真です。
今年のテーマは「ジュラ志木パーク」に決まりました。自由奔放でワイルドな志木高生を恐竜に例え、
ユーモアを混ぜたテーマです。

多くの方々に志木高生を知ってもらうとともに楽しんでいただきたいという実行委員の熱い想いと願
いが込められています。

今年度も志木高生全員が全力で楽しむことはもちろんのこと、来場者の方々も楽しんでいただけよう
最高の収穫祭を創り上げてお待ちしております。

収穫祭実行委員への応援をどうぞよろしくお願ひします。

卒業40周年ご招待

29期 田村哲

昭和53年(1978年)の生徒手帳を開くと4月5日(水)入学式と印刷され3月24日(土)卒業式と手書きで記されています。当時校医を勤められた故相田英孝氏の「受ける側の負担を最小にと心掛けて最大の行いを」との言葉を思い出させていただきました。

曜日変われど日は変わらずで、29期卒業生は平成31年3月24日日曜日、母校体育館に参上しました。塾生諸君、教員方、志木会を担当する星野さん初め職員の皆さん、来賓の塾員、PTAの方々の大らかな、細やかな心遣いにより忘れられぬ一刻となりました。塾歌を歌いながら視線を上げると、法学部卒業時に訪れた欧州の大伽藍で天井面に圧倒されながら「高さだけなら志木高も負けちゃいないよ」と感じた記憶が甦り、恵まれた環境に学んだことを染み染み思いました。出席者70余名の中にはそれぞれ40年振りという仲間も多く、懇親会では高橋美樹校長と松下賢次志木会会長が感動的に、そして出席者の緊張を和らげようと火花が出るように競われ、この上無い盛り上がりでした。

ネタばらしは避けませんが、当日拝受の記念品も素敵で今後招待される各期の諸君も是非出席をお勧めします。



平成 30 年度 慶應志木会 収支報告書

[平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日]

単位：円

| 収 入 | | 支 出 | |
|----------|------------|-------------|------------|
| 適 要 | 金 額 | 摘 要 | 金 額 |
| 前期繰越金 | 22,442,333 | 会報費 | 2,418,390 |
| | | 会議費 | 424,378 |
| 維持会費 | 90,000 | 式典費 | 50,000 |
| 新入会費 | 7,290,000 | 交際費 | 155,048 |
| 物販収入 | 151,110 | 通信費 | 65,508 |
| 役員会幹事会会費 | 284,731 | 事務費 | 90,972 |
| 寄付金 | 217,506 | 事業費 | 1,569,554 |
| 預金利息 | 73 | パソコン関連費 | 302,562 |
| | | 会費返却 | 20,000 |
| | | 収穫祭寄付 | 300,000 |
| | | 卒業式寄付 | 300,000 |
| | | 国際交流支援寄付 | 300,000 |
| | | 卒業生記念品・志木会賞 | 3,726 |
| | | 振込手数料 | 14,904 |
| | | 残高証明 | 204 |
| | | 奨学基金 | 227,506 |
| | | 大会関連費 | 2,361,988 |
| 収入小計 | 8,033,420 | 支出小計 | 8,604,740 |
| | | 次期繰越金 | 21,871,013 |
| 合 計 | 30,475,753 | 合 計 | 30,475,753 |

預金残高明細（平成 31 年 3 月末現在）

| 銀 行 | 種 別 | 適 用 | 管 理 | 残高金額 | |
|-------|-----|---------|-----|------------|------|
| 埼玉りそな | 普通 | 入会金 | 金森 | 0 | (閉鎖) |
| りそな | 普通 | 一般 | 金森 | 0 | (閉鎖) |
| 郵便局 | 振替 | 会費口 | 金森 | 10,590,186 | |
| 三井住友 | 普通 | 小口 | 天野 | 681,190 | |
| 郵便局 | 普通 | 会費口 | 星野 | 9,822,722 | |
| 埼玉りそな | 普通 | 小口 | 星野 | 766,915 | |
| 郵便局 | 振替 | パーティー会費 | 金森 | 10,000 | |
| りそな | 普通 | 寄付 | 金森 | 0 | |
| 合 計 | | | | 21,871,013 | |

【監査報告】

慶應志木会会則第 18 条に基づき、平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の会計監査を実施いたしました。その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

令和 1 年 5 月 9 日

監 事 原田 薫 (押印略)
監 事 増山 治一郎

慶應志木会役員・幹事・クラブ幹事 (令和元年5月末現在)

■役員

名誉会長 高橋 美樹 (校長)
会長 坂上 隆彦 (23期)
副会長 上西 正之 (23期) 財務・渉外担当
 大館 信 (28期) 総務・企画・広報・情報管理担当
幹事長 中村 弘司 (23期)
副幹事長 夏目 雅 (23期)
会計監事 原田 薫 (15期)
 増山 治一郎 (17期)

■事務局幹事

宇野 宏 (35期) 事務局長
 金子 博志 (20期) 情報管理担当
 永井 利宗 (27期) 企画・広報担当
 青木 勝 (33期) 総務担当
 天野 徳雄 (36期) 財務担当
 田内 久晴 (37期) 企画・広報担当
 甲斐 正英 (40期) 財務担当
 大久保佐太郎 (55期) 広報担当

■顧問

櫻井 英太郎 (1期) 龍野 和久 (1期) 多田 毅 (7期)
 五老 輝彦 (9期) 品川 雅貴 (12期) 本橋 重夫 (15期)
 鹿野 元章 (16期) 阪東 宗文 (16期) 西村 孝一 (17期)
 松下 賢次 (21期) 山崎 嘉正 (26期)

■幹事

| 期 | 卒業年 | 幹事 | | | | | | | |
|----|----------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--|--|
| 1 | S.26 (1951) 年卒 | 藤井 淳 | 松本 仙太郎 | | | | | | |
| 2 | S.27 (1952) 年卒 | 忽滑谷 岱司 | | | | | | | |
| 3 | S.28 (1953) 年卒 | 菅野 光男 | | | | | | | |
| 4 | S.29 (1954) 年卒 | 藤岡 民良 | 高橋 公郎 | 伊藤 金次郎 | 三浦 靖夫 | | | | |
| 5 | S.30 (1955) 年卒 | 寺嶋 延行 | 関山 清 | 木下 聰 | | | | | |
| 6 | S.31 (1956) 年卒 | 真野 信裕 | 松本 福太郎 | 茂木 光義 | 梅澤 勉 | | | | |
| 7 | S.32 (1957) 年卒 | 熊崎 順次郎 | 鈴木 正治 | 渡辺 正 | | | | | |
| 8 | S.33 (1958) 年卒 | 青木 宏至 | 品川 宗弘 | 大須賀 均 | 磯部 和宏 | | | | |
| 9 | S.34 (1959) 年卒 | 五老 輝彦 | 佐々木 弘暢 | 荒井 浩 | | | | | |
| 10 | S.35 (1960) 年卒 | 馬場 紘二 | 斉藤 彰 | 細井 昭 | 吉川 忠裕 | | | | |
| 11 | S.36 (1961) 年卒 | 馬淵 祥宏 | 森原 孝夫 | 菅谷 正樹 | 西 光由 | 渋谷 哲男 | | | |
| 12 | S.37 (1962) 年卒 | 川久保 達也 | 岡田 幸次郎 | 原田 雄介 | 並木 美和 | | | | |
| 13 | S.38 (1963) 年卒 | 清水 武寿 | 椎野 開八郎 | 山本 雄一 | 飯島 智 | | | | |
| 14 | S.39 (1964) 年卒 | 小林 好二 | 築山 正 | 三関 峻 | 佐久間 義雄 | 藤田 正壽 | | | |
| 15 | S.40 (1965) 年卒 | 小笠原 準一 | 倉田 伸二 | 深瀬 啓司 | | | | | |
| 16 | S.41 (1966) 年卒 | 緒方 信次 | 恩田 博司 | 近藤 隆夫 | | | | | |
| 17 | S.42 (1967) 年卒 | 荘 敬典 | 北村 基樹 | 前嶋 晶廣 | 野村 真 | 中村 康二 | 川鍋 二郎 | | |
| 18 | S.43 (1968) 年卒 | 伊藤 博 | 黒田 豊 | 徳永 良 | 間宮 勝 | 三村 信二 | 青沼 広海 | | |
| | | 大場 紹吉 | | | | | | | |
| 19 | S.44 (1969) 年卒 | 中西 廣策 | 鈴木 基晴 | 齋藤 治雄 | | | | | |
| 20 | S.45 (1970) 年卒 | 中 一弥 | 杉 雅俊 | | | | | | |
| 21 | S.46 (1971) 年卒 | 飯島 敏一 | 福地 敏之 | 折登 泰樹 | 小林 哲男 | 森 光太郎 | 内山 洋一 | | |
| 22 | S.47 (1972) 年卒 | 金子 康雄 | 櫻井 造雄 | 三木 哲郎 | 深澤 澄 | 江夏 雄 | 増田 裕 | | |
| | | 城 克 | 深井 昭 | | | | | | |
| 23 | S.48 (1973) 年卒 | 夏目 雅 | 梅澤 由起 | 森田 榮一 | 三義 英一 | 太田 敏一 | | | |
| 24 | S.49 (1974) 年卒 | 赤木 均 | 島影 幸有 | 田沼 潔 | 京本 修 | | | | |
| 25 | S.50 (1975) 年卒 | 小川 洋 | 高橋 宣行 | 島田 徹 | | | | | |
| 26 | S.51 (1976) 年卒 | 山田 純男 | 船山 剛 | 小池 雅澄 | 善木 達明 | 澤田 尚史 | 中川 龍士 | | |
| | | 渡辺 規人 | 荻原 弘幸 | | | | | | |
| 27 | S.52 (1977) 年卒 | 鬼頭 真一郎 | 金森 悟 | 高橋 健三郎 | | | | | |
| 28 | S.53 (1978) 年卒 | 伊能 重雄 | 池田 欽哉 | 南村 譲治 | | | | | |
| 29 | S.54 (1979) 年卒 | 鳥羽 克治 | 清重 利昌 | 池上 忠嗣 | | | | | |
| 30 | S.55 (1980) 年卒 | 岸田 一男 | 原田 仁敦 | 佐藤 正人 | 新 隆文 | | | | |
| 31 | S.56 (1981) 年卒 | 荻田 健之 | 福島 聡 | 布施 浩行 | 梶原 靖友 | 内匠屋 健 | | | |
| 32 | S.57 (1982) 年卒 | 町野 素久 | 横江 資友 | 梅田 幸彦 | 鈴木 厚 | 伊勢 学 | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|-------------|----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--|
| 33 | S.58 (1983) | 年卒 | 小玉 裕 | 河野 潔 | 本多 関雄 | | | | |
| 34 | S.59 (1984) | 年卒 | 大内 正博 | 山下 孝 | 古長 玄一郎 | | | | |
| 35 | S.60 (1985) | 年卒 | 須佐美 文忠 | 昌谷 健司 | 岩瀬 克也 | 永原 圭司 | 坂井 琢磨 | 萩原 太造 | |
| | | | 大澤 宏樹 | | | | | | |
| 36 | S.61 (1986) | 年卒 | 阿部 元雅 | 澤田 克己 | | | | | |
| 37 | S.62 (1987) | 年卒 | 鍋島 康友 | 永田 博詳 | 植島 博之 | 原田 純一 | | | |
| 38 | S.63 (1988) | 年卒 | 知久 康成 | 中里 栄基 | 金子 隆則 | 荒瀬 光宏 | | | |
| 39 | H.1 (1989) | 年卒 | 丸山 和紀 | 田中 浩樹 | 大西 重夫 | 鈴川 智徳 | | | |
| 40 | H.2 (1990) | 年卒 | 井上 晴生 | 税所 篤史 | | | | | |
| 41 | H.3 (1991) | 年卒 | 柏木 徹 | 三田 貴良 | 須田 光貴 | | | | |
| 42 | H.4 (1992) | 年卒 | 安 重煥 | 小島 圭 | 御山 義明 | 大澤 康算 | | | |
| 43 | H.5 (1993) | 年卒 | 藪原 一暁 | 高松 智之 | 田口 鍊 | | | | |
| 44 | H.6 (1994) | 年卒 | 宮田 真詩 | | | | | | |
| 45 | H.7 (1995) | 年卒 | 若松 洋雄 | 小山 一 | 小川 圭 | | | | |
| 46 | H.8 (1996) | 年卒 | 谷口 剛 | 川崎 聡 | | | | | |
| 47 | H.9 (1997) | 年卒 | 小寺 俊且 | 谷 嘉康 | 森 茂之 | 西本 祥仁 | 濱岡 勇介 | 小林 圭 | |
| | | | 前北 馨 | | | | | | |
| 48 | H.10 (1998) | 年卒 | 亀山 雄高 | 黒川 真行 | 寺西 富広 | | | | |
| 49 | H.11 (1999) | 年卒 | 石川 快 | 廣江 安彦 | | | | | |
| 50 | H.12 (2000) | 年卒 | 高岡 功 | 徳田 征之 | 小林 敬英 | 齋藤 収 | | | |
| 51 | H.13 (2001) | 年卒 | 石井 強太 | 森川 渉 | 浅岡 良彦 | 治田 和明 | | | |
| 52 | H.14 (2002) | 年卒 | 毛呂 淳一朗 | 渡邊 慶太郎 | | | | | |
| 53 | H.15 (2003) | 年卒 | 森岡 多門 | 林 憲 | | | | | |
| 54 | H.16 (2004) | 年卒 | 塚本 大夢 | 中川 雅之 | | | | | |
| 55 | H.17 (2005) | 年卒 | 池端 俊太 | 小泉 貴史 | | | | | |
| 56 | H.18 (2006) | 年卒 | 大久保 匠馬 | 若林 隆晃 | 横澤 慶太 | 原口 惇 | | | |
| 57 | H.19 (2007) | 年卒 | 和田 亮 | 時田 亜希夫 | | | | | |
| 58 | H.20 (2008) | 年卒 | 宮山 明 | 佐藤 友紀 | | | | | |
| 59 | H.21 (2009) | 年卒 | 箱崎 勇人 | 本多 清礼 | | | | | |
| 60 | H.22 (2010) | 年卒 | 岡田 哲哉 | 中込 健太 | 工藤 雄太 | 松井 洋 | 古川 創一 | | |
| 61 | H.23 (2011) | 年卒 | 井上 裕紀 | 富澤 直嗣 | | | | | |
| 62 | H.24 (2012) | 年卒 | 荒木 謙人 | 岡本 尚之 | 加藤 将平 | 椎名 翔平 | 武蔵 泰 | | |
| 63 | H.25 (2013) | 年卒 | 星野 真瑠也 | 星野 宏太 | | | | | |
| 64 | H.26 (2014) | 年卒 | 市川 広大 | 巽 祐一 | 池上 太悟 | 亀倉 玲 | 森 大和 | 内村 朝樹 | |
| 65 | H.27 (2015) | 年卒 | 秋田 雅信 | 友野 雅樹 | | | | | |
| 66 | H.28 (2016) | 年卒 | 小林 翔 | 恩田 真希 | | | | | |
| 67 | H.29 (2017) | 年卒 | 菱刈 太一 | 本間 健太郎 | 大森 脩平 | 堀内 悠生 | 今野 裕三 | | |
| 68 | H.30 (2018) | 年卒 | 松田 高幸 | 齋藤 正人 | | | | | |
| 69 | H.31 (2019) | 年卒 | 中山 元貴 | 堀永 尚 | | | | | |

■クラブ幹事

| | | | | | |
|-------|-------------|--------|--------------|-------|-------------|
| 枇杷の会 | 深瀬 啓司 (15期) | ホッケー部 | 菅野 芳哉 (29期) | スキー部 | 渡邊 一仁 (51期) |
| 硬式庭球部 | 田中 真介 (17期) | 弓術部 | 小宮 雄造 (30期) | 鉄道研究会 | 滝上 紘之 (52期) |
| 硬式野球部 | 小川 光二 (17期) | 軟式テニス部 | 枇々木 規雄 (34期) | ワグネル | 南 琳太 (61期) |
| 應援指導部 | 渡辺 伸一 (17期) | バスケット部 | 木村 尚敬 (37期) | ワグネル | 山浦 元気 (61期) |
| 卓球部 | 浅生 潤 (23期) | バスケット部 | 平賀 敦己 (41期) | | |
| バレー部 | 進藤 英典 (23期) | サッカー部 | 中村 直人 (38期) | | |

【訃報】

品川 仁君 (3期) 小林 石三君 (5期) 奥村 捷興君 (14期)
 謹んでご冥福をお祈りいたします

編輯後記

最後までご覧下さいまして、ありがとうございます。慶應義塾のなかでも、志木高は卒業生同士に連帯感があるような気がします。在学中は他の一貫教育校に比べるとかなりの「脱力系」だった記憶がありますが、卒業後に同窓生を見つくと、なぜか親近感が湧きます。三田でも、日吉でも、湘南藤沢でも無いという、マイノリティ故のアイデンティティがあるのかもしれない。(さたらう)

昨年の志木会大会が終わり、次は75周年、と大型企画目白押しですが、会報を通じて会員の皆様に浸透するといいな……と思うこの頃。年代が違って、志木、で繋がる志木会は楽しいものです。寄稿いただいた皆様に感謝！ (元収獲祭実行委員)

慶應志木会会報 2019.vol.39

編輯・発行 慶應志木会
 (慶應義塾志木高等学校同窓会)
 〒353-0004
 埼玉県志木市本町4-14-1
 TEL: 048-471-1959 (志木高内)
 発行人 坂上 隆彦
 発行日 令和元年7月25日
 印刷 (株)アレックス
 ウェブサイト <http://www.keio-shikikai.jp/>
 電子メール info@keio-shikikai.jp